

# 1級建築施工管理技士

# 令和3年度から新しい試験制度に!

令和3年度に試験制度が変更となり、「学科試験」「実地試験」が施工管理技術検定「第一次検定」および「第二次検定」へと再編されます。

学科試験 + 実地試験

## 第一次検定 (合格すると技士補に)

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定。

## 第二次検定 (合格すると技士に)

施工技術のうち実務経験に基づいた技術上の管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定。

# 令和3年度“新試験”合格めざすなら当学院で! 高実績講座で徹底攻略!

## 効率的に実力UPできる学習システムがさらに進化! 「合格サイクル + 継続学習」



当学院独自の学習システムで、週ごとに設定された学習項目を講習日の当日中に完全に理解し、さらに徹底したアウトプットトレーニングを繰り返すことで、次の講義までに確実に得点力へと結びつけます。

計画的なカリキュラムに基づいて構成された、この週単位の学習サイクルを、「今年絶対“合格”する!ダイアリー」(裏表紙)を活用しながら第一次検定試験日まで継続的に行うことにより、どなたでも無理なく合格レベルの実力を身につけることが可能です。基礎問題から応用問題、周辺関連事項など、様々な難問にも対応した、確実に合格をめざすための学習システムとなっています。

第一次検定に追加される

## 5肢2択の新出題形式にも対応!

受検者が監理技術者補佐として、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有しているかを判断する目的で、令和3年度以降の第一次検定では新たに5肢2択形式の出題が追加されます。

もちろん当学院講座で使用する各種テストや模擬試験は新出題形式に対応。受験本番でも焦ることなく、余裕をもって解答できる力が身につきます。



新規!!

## プレテスト

講義中に取り組むテスト。実際に問題を解きながら講義を受けることで、理解度が深まります。また予習段階でこのテストにあらかじめ取り組み、疑問点等を抽出しておくことで、**より効率的に講義を理解できるようになります。**